

ツキヨタケによる食中毒が発生しました

 平成 22 年 10 月 11 日
 魚沼地域振興局健康福祉部

発生概要	平成 22 年 10 月 11 日午前 10 時 10 分頃 魚沼保健所管内の医療機関から魚沼保健所へ、「毒きのこ」による食中毒と思われる患者を診察した旨の届出があった。	
	魚沼保健所で調査した結果、平成 22 年 10 月 10 日、魚沼市在住の男性が同市内の山林できのこを採取し、同日午後 6 時に、男性の妻が自宅できのこを「きんぴら」にして家族 4 人で食べたところ、うち 3 人が同日午後 7 時頃からおう吐等の症状を呈し、3 人が医療機関を受診し、うち 1 人が入院したことが判明した。	
患者の状況	患者宅に残っていた「きんぴら」のきのこを専門家が鑑定したところ、有毒なきのこのツキヨタケであること及び医師の診断から食中毒と断定した。	
	なお、患者らは快方に向かっている。	
	摂食者数	4 人
	患者数	3 人(20 代男性 1 人、30 代～60 代女性 2 人)
	治療を受けた者	3 人
	入院した者	1 人
	死亡した者	0 人
原因食事	きのこの「きんぴら」	
病因物質	植物性自然毒(ツキヨタケ)	



ツキヨタケについて(特徴)

- ・傘は半円形～じん臓型で長径 10～25 cm、柄は傘のほとんど横につき、紫褐色～暗紫褐色。
- ・県内で発生したきのこによる食中毒の多くは、ツキヨタケである。

毒きのこによる食中毒に注意しましょう

- ・ 種類の判定ができないきのこは、「採らない」「食べない」「人にあげない」
- ・ 確実に鑑定できる専門知識のある方に鑑別してもらいましょう。
- ・ 保健所でも相談を受け付けています。

平成 22 年 新潟県内食中毒発生状況(本日発表分を含む)

	発生件数	患者数
10 月 11 日現在	16 件	389 人
昨年 同 期	19 件	135 人

上記のうち、きのこによるもの(本日発表分を含む)

	発生件数	患者数
10 月 11 日現在	2 件	7 人
昨年 同 期	4 件	14 人

この食中毒の担当事務所及び問い合わせ先

魚沼保健所(魚沼地域振興局健康福祉部内)

衛生環境課 大澤

直通 025-792-8619

E - mail; ngt111520@pref.niigata.lg.jp

ツキヨタケの写真が必要な場合はメールをお願いします。

本日の報道対応は午後 7 時 30 分までとさせていただきます。